

- 8) 吉川博之, 照光 真, 田中 裕, 弦卷 立, 倉田行伸, 近藤由記, 瀬尾有可, 瀬尾憲司: 当科における口腔内局所麻酔持続塗布症例の検討, 第38回日本歯科麻酔学会総会, 平成22年10月7-9日, 横須賀, 日本歯科麻酔学会雑誌, 38(4), 135, 2010.
- 9) 倉田行伸, 田中 裕, 照光 真, 弦卷 立, 吉川博之, 近藤由記, 瀬尾有可, 瀬尾憲司: 当科における末梢性三叉神経損傷後の知覚障害に対する予後評価基準の再検討, 第38回日本歯科麻酔学会, 平成22年10月7日-10月9日, 横須賀, 日本歯科麻酔学会雑誌, 38(4), 521, 2010.
- 10) 弦卷 立, 吉川博之, 瀬尾憲司: ラット下歯槽神経におけるセロトニン受容体サブタイプm RNA 発現の検討, 第38回日本歯科麻酔学会学術集会, 平成22年10月8-9日, 横須賀, 日本歯科麻酔学会雑誌, 38(4), 534, 2010.
- 11) 中野 久, 前田雅也, 豊里 晃, 弦卷 立: 精神科病院における障害者歯科診療-当センター10年間の診療動態-, 第27回日本障害者歯科学会総会, 2010年10月23-24日, 東京, 日本障害者歯科学会雑誌, 31(3), 373, 2010.
- 12) 田中 裕, 弦卷 立, 富沢美恵子, 瀬尾憲司: 静脈路確保が困難であった重症チアノーゼ性心疾患を有する精神遅滞患者の全身管理経験, 第27回日本障害者歯科学会総会, 2010年10月23-24日, 東京, 日本障害者歯科学会雑誌, 31(3), 583, 2010.
- 13) 真島一郎, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 村上修一, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 成田一衛, 鈴木栄一, 内山 徹, 新沢秀範, 田中 裕, 村松公美子: 気管支喘息患者の日常生活満足度に影響する要因について, 第15回日本心療内科学会総会, 平成22年11月20-21日, 岡山市, 日本心療内科学会雑誌, 14, 抄録号, 74, 2010.
- 14) 藤村健夫, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸: 透析患者に対する心身医学の視点2「ある透析患者の抑うつ感について」, 第15回日本心療内科学会総会, 平成22年11月20-21日, 岡山市, 日本心療内科学会雑誌, 14, 抄録号, 82, 2010.
- 15) 田中 裕, 瀬尾憲司, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 斉藤 功, 真島一郎, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 村松芳幸, 下条文武, 村松公美子, 櫻井浩治: 口腔外科手術患者の術前睡眠状態と術後有害身体愁訴の発生との関連性の検討, 第15回日本心療内科学会総会, 平成22年11月20-21日, 岡山市, 日本心療内科学会雑誌, 14, 抄録号, 91, 2010.

【研究会発表】

- 1) 瀬尾有可: 手術直後 再挿管を余儀なくされた2症例の検討, 新潟口腔外科麻酔科集談会, 2010年11月11日, 新潟市, 2010.

【その他】

- 1) 染矢源治: 新潟口腔外科歯科麻酔科集談会特別講演会, 平成22年5月13日, 2010.
- 2) 瀬尾憲司, 他: 新潟県歯科医師会救急講習会-ベーシックコース-, 平成22年7月4日, 新潟市, 2010.
- 3) 瀬尾憲司: AHA BLS インストラクター, 平成22年7月29日, 佐渡市, 2010.9月12日(村上市), 11月14日(長岡市), 1月29日(新発田市)
- 4) 瀬尾憲司, 他: 新潟県歯科医師会救急講習会-アドバンスコース-, 平成22年8月8日, 新潟市, 2010.
- 5) 照光 真: 小学生のためのオープンラボラトリー2010, 新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター, 平成22年7月30日, 新潟市, 2010.
- 6) 瀬尾憲司, 他: 医療法人徳真会救急講習会, 平成22年年8月28日, 新潟市, 2010.
- 7) 瀬尾憲司: AHA BLS インストラクター, 平成22年11月14日, 長岡市, 2010.
- 8) 瀬尾憲司: AHA BLS インストラクター, 平成23年1月29日, 新発田市, 2011.

【資格】

- 1) 照光 真: AHA Healthcare Provider 取得, 平成22年8月14日.
- 2) 吉川博之: AHA Healthcare Provider 取得, 平成22年8月14日.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) Yamazaki K, Ito H: Oral Biology: Molecular Techniques and Applications Single-Strand Conformation Polymorphism Analysis for the Diagnosis of T-Cell Clonality in Periodontal Disease. (Seymour GJ, Cullinan MP, Heng NCK 編) P359-372, Springer, Oxford, UK, 2010.
- 2) Tabeta K, Yamazaki K: Oral Biology: Molecular Techniques and Applications Analysis of Immune Responses to Purified Recombinant Antigens of Periodontal Pathogens. (Seymour GJ, Cullinan MP, Heng NCK 編) P345-357, Springer, Oxford, UK, 2010.
- 3) 福島正義: 全国歯科衛生士協議会監修: 歯の硬組織・

- 歯髄疾患 保存修復・歯内療法, 分担執筆 P61-68, 医歯薬出版, 東京, 2010年4月.
- 4) 福島正義: 日本老年歯科医学会監修; 高齢者歯科診療ガイドブック, 分担執筆 P81-85, 口腔保健協会, 東京, 2010年5月.
 - 5) 福島正義: 飯野文彦, 若林健史編著: 歯科医院のホスピタリティーチーム医療のススメー 第6章 教育の現場から/これからの歯科医師に求められること (大学歯学部), 分担執筆 P104-108, 口腔保健協会, 東京, 2010年6月.
 - 6) 佐久間汐子: フッ化物関連用語. フッ化物応用の科学 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 206-209頁, 口腔保健協会, 東京, 2010.
 - 7) 佐久間汐子: I. 各種のフッ化物局所応用, 3. フッ化物配合歯磨剤の利用. 新フッ化物ではじめるむし歯予防 (筒井昭仁, 八木 稔編), 29-38頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 8) 八木 稔, 磯崎篤則: 第I編 フッ化物の基礎知識 第5章 フッ化物の毒性 2 フッ化物の慢性毒性. フッ化物応用の科学 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 49-53頁, 口腔保健協会, 東京, 2010.
 - 9) 八木 稔, 小林清吾: 第II編 フッ化物応用によるう蝕予防方法の実際 第2章 フッ化物全身応用. フッ化物応用の科学 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 93-110頁, 口腔保健協会, 東京, 2010
 - 10) 八木 稔: 第III編 フッ化物応用の普及 第2章 種々のフッ化物応用の普及状況 1 わが国における普及状況 2) フッ化物歯面塗布. フッ化物応用の科学 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 163-166頁, 口腔保健協会, 東京, 2010.
 - 11) 八木 稔: I. 各種のフッ化物局所応用, 1. フッ化物歯面塗布. 新フッ化物ではじめるむし歯予防 (筒井昭仁, 八木 稔編), 3-12頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 12) 八木 稔: 用語解説. 新フッ化物ではじめるむし歯予防 (筒井昭仁, 八木 稔編), 123-125頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
- of teeth with complete root formation. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 39: 1193-1203, 2010.
- 3) Tabeta K, Tanabe N, Yonezawa D, Miyashita H, Maekawa T, Takahashi N, Okui T, Nakajima T, Yamazaki K: Elevated antibody titers to *Porphyromonas gingivalis* as a possible predictor of ischemic vascular disease: results from the Tokamachi-Nakasato cohort study. *J Atheroscler Thromb*, in press.
 - 4) Kitamura M, Akamatsu M, Machigashira M, Hara Y, Sakagami R, Hirofujii T, Hamachi T, Maeda K, Yokota M, Kido J, Nagata T, Kurihara H, Takashiba S, Shibutani T, Fukuda M, Noguchi T, Yamazaki K, Yoshie H, Ioroi K, Arai T, Nakagawa T, Ito K, Oda S, Izumi Y, Ogata Y, Yamada S, Shimauchi H, Kunimatsu K, Kawanami M, Fujii T, Furuichi Y, Furuuchi T, Sasano T, Imai E, Omae M, Yamada S, Watanuki M, Murakami S: FGF-2 stimulates periodontal regeneration: results of a multi-center randomized clinical trial. *J Dent Res* 90: 35-40, 2011.
 - 5) Aoki Y, Tabeta K, Murakami Y, Yoshimura F, Yamazaki K: Analysis of immunostimulatory activity of *Porphyromonas gingivalis* fimbriae conferred by Toll-like receptor 2. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 398: 86-91, 2010.
 - 6) Takahashi N, Honda T, Domon H, Nakajima T, Tabeta T, Yamazaki K: IL-1 receptor-associated kinase-M in gingival epithelial cells attenuates the inflammatory response elicited by *Porphyromonas gingivalis*. *J Periodontal Res* 45: 512-519, 2010.
 - 7) Maekawa T, Takahashi N, Honda T, Yonezawa D, Miyashita H, Okui T, Tabeta K, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* antigens and interleukin-6 stimulate the production of monocyte chemoattractant protein-1 via the upregulation of early growth response-1 transcription in human coronary artery endothelial cells. *J Vasc Res* 47: 346-354, 2010.
 - 8) Okumura N, Stegaroiu R, Kitamura E, Kurokawa K, Nomura S. Influence of maxillary cortical bone thickness, implant design and implant diameter on stress around implants: A three-dimensional finite element analysis. *J Prosthodont Res* 54 (3) : 133-142, 2010.
 - 9) Okumura N, Stegaroiu R, Nishiyama H, Kurokawa K, Kitamura E, Hayashi T, Nomura S. Finite element
- 【論文】
- 1) Asai T, Kazama R, Fukushima M, Okiji T: Effect of overglazed and polished surface finishes on the compressive fracture strength of machinable materials, *Dent Mater J*, 29 (6) :611-667,2010.
 - 2) Sugai T, Yoshizawa M, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Kitamura N, Okiji T, Saito C: Clinical study on prognostic factors for autotransplantation

- analysis of implant-embedded maxilla model from CT data: Comparison with the conventional model. *J Prosthodont Res* 55 (1) : 24-31, 2011.
- 10) Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H, Kobayashi S: Economic evaluation of a school-based combined program with a targeted pit and fissure sealant and fluoride mouth rinse in Japan. *Open Dent J*, 4: 230-236, 2010.
 - 11) Ichikawa K, Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H, Funayama S, Ito K, Igarashi A: Relationships between amount of saliva and medications in elderly individuals (79- 80 years old) . *Gerodontology*, in press.
 - 12) Oo HN, Myint YY, Maung CN, Oo PS, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Yagi M, Sawair FA, Saku T: Oral cancer in Myanmar: a preliminary survey based on hospital- based cancer registries. *J Oral Pathol Med*, 40 (1) : 20-26, 2011.
 - 13) Ishikawa Y, Ida-Yonemochi H, Suzuki H, Nakakura-Ohshima K, Jung Hs, Honda MJ, Ishii Y, Watanabe N, Ohshima H: Mapping of BrdU Label-retaining dental pulp cells in growing teeth and their regenerative capacity after injuries. *Histochemistry Cell Biology* 134 (3) : 227-41, 2010.
 - 14) 鈴木昭：コ・デンタルスタッフ教育と口腔保健学教育—これからの課題。 *日歯教誌*, 26 (1), 17-18,2010.
 - 15) 鈴木昭：ケアハウスにおける高齢者自立支援プログラムの開発に関する実践的研究。 *社会福祉法人知足常楽会受託研究報告書*, 平成 23 年 3 月 31 日
 - 16) 鈴木昭：相談の社会化と子ども虐待のない福祉コミュニティの形成に関する実証的研究。 *平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)*, 総括報告書, 平成 23 年 3 月 31 日.
 - 17) 石崎裕子, 福島正義：特集 MI を考える① 切削介入はいつ？ *日歯理工誌*, 29 (1) : 9～12, 2010 年.
 - 18) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 福島正義, 末瀬一彦：三年制歯科衛生士教育における臨床実習の実質化第 1 報 歯科衛生士インストラクター導入と基礎教育の改善効果, *日衛学誌* 4 (2) : 66～73, 2010 年.
 - 19) 頭山高子, 隅田好美, 筒井 陸, 田中照代, 福島正義, 末瀬一彦：三年制歯科衛生士教育における臨床実習の実質化 第 2 報 歯科衛生士インストラクターによるマンツーマン指導の効果, *日衛学誌* 5 (1) : 46～56, 2010 年.
 - 20) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 福島正義, 末瀬一彦：三年制歯科衛生士教育における臨床実習の実質化第 3 報—卒業後に見られる DHCI 実習の教育効果一, *日本歯科衛生学会雑誌* 5 (2) ,53-63, 2011
 - 21) 武井典子, 藤本篤士, 石川正夫, 竹中彰治, 福島正義, 高田康二, 岩久正明：高齢者の口腔機能検査法・改善法・効果の評価法からなる総合的なシステムとしての開発と介護予防への貢献に関する研究, 平成 21 年度 8020 公募研究事業研究報告書, 財団法人 8020 推進財団, 53-64, 2010 年 6 月.
 - 22) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史：CAD/CAM オールセラミックインレーに対する被着面酸処理が破折強度に及ぼす影響, *接着歯学*, 28 (2) : 61～66, 2010.
 - 23) 福島正義：特集 審美歯科治療における歯の寿命を考えた処置／歯の寿命を考えたう蝕歯の生物学的修復処置, *歯科審美*, 23 (1) : 26～30, 2010.
 - 24) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史: グラスアイオノマー系象牙質知覚過敏症抑制材に関する研究—フッ素, カルシウムおよびリンの象牙質への取り込み観察—, *日歯保存誌* 53 (5) : 502-507, 2010.
 - 25) 小野和宏：二段階法 対 一段階法 この 10 年で結論は出たのか. *日口外誌*, 56: 628-635, 2010.
 - 26) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 藤井規孝, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康：新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価 —学習成果に関する卒業生の自己評価と教員評価の一致度による検討— . *日歯教誌*, 26: 49-57, 2010.
 - 27) 安島久雄, 魚島勝美, 小野和宏, 藤井規孝, 井上 誠, 山村健介, 齋藤 功, 興地隆史, 高木律男, 前田健康：新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性 . *日歯教誌*, 26: 349-353, 2010.
 - 28) Hemoudi Y, Yamada K, Asahito T, Ono K, Saito C, Takagi R, Saito I: The effects of timing of secondary alveolar bone graft on craniofacial morphology in patients with unilateral cleft lip and alveolus. *新潟歯学会誌*, 40: 19-28, 2010.
 - 29) 大岩典代, 藤田 一, Roxana Stegaroiu, 小野和宏：口腔癌放射線治療患者に対し口腔ケアを行った経験 —患者 QOL からみた口腔ケアの有用性に関する検討— . *新潟歯学会誌*, 40: 65-72, 2010.
 - 30) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 寺尾恵美子, 小山貴寛, 小林孝憲, 五十嵐友樹：二段階口蓋形成手術法における Furlow 法による軟口蓋形成後の硬口蓋裂の推移 —硬口蓋閉鎖の適期に関する検討— . *日口蓋誌*, 35: 195-206, 2010.
 - 31) 飯田明彦, 芳澤亨子, 小山貴寛, 齋藤太郎, 高木律男, 齋藤 力, 齋藤 功, 小野和宏, 泉 健次：培養複合口腔粘膜移植を応用した口唇口蓋裂の 2 例. *日口蓋誌*, 35: 235-240, 2010.
 - 32) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 八巻正樹, 齋藤 功,

稲見佳大：顎裂部骨移植術と同時に隣接する側切歯に対し歯胚回転を行った1例．日口蓋誌，35：241-246，2010．

- 33) 隅田好美：病いとともにその人らしく生きる』ための病いの意味づけ—筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への質的調査を通して—，日本社会福祉学会社会福祉学 51（1）：53-65，2010
- 34) 岡崎敦子，宮島 久，八木 稔，高木律男：高齢者の顎関節症に関する臨床統計的検討 20歳代発症者との比較，口科誌，59（3）：105-112，2010．
- 35) 石川裕子：最近のトピックス BrdU ラベル歯髓細胞の発生過程における局在と歯の損傷後の再生能について，新潟歯学会雑誌 40（2）：169-170，2010．
- 36) 柴田佐都子，大瀧祥子，井上 誠：多系統萎縮症（MSA）における口腔衛生状態の悪化とその関連因子．障害者歯科，31（2）：184-92，2010．

【商業誌】

- 1) 石崎裕子，福島正義：Tooth wear と天然歯の生理的磨耗量，歯界展望，115（6），1142-1143，2010年
- 2) 大橋乃梨子，福島正義：口元の審美的改善を求める患者の心理，歯界展望，116（3），548-549，2010年．
- 3) 福島正義：特集 象牙質知覚過敏症 目からウロコのパーフェクト治療ガイド1／サホライド液歯科用38%，歯界展望，116（4），612頁，2010年．
- 4) 隅田好美：社会福祉学的な視点から見た歯科保健指導—ALSの患者さんに寄り添って—，デンタルハイジーン 30（8），医歯薬出版，844-847，2010

【科研費獲得】

- 1) 鈴木昭：相談の社会化と子ども虐待のない福祉コミュニティの形成に関する実証的研究．平成20-22年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C），計1,820千円．
- 2) 小野和宏，前田健康，鈴木晶子：顎関節関節腔形成における血管系の役割．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤（C），22592207，2010．
- 3) 山崎和久（主担当研究者）：最先端医歯学の融合による口腔—全身問題の解決を目指す若手研究者養成プログラム．日本学術振興会 頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム，S2203，2010．
- 4) 山崎和久（研究分担者）：レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—．日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究（B），課題番号21390555，2010．
- 5) 山崎和久（研究分担者）：歯周炎と動脈硬化性疾患の生物学的関連を解明する—インターフェースとなるエイジング—．文部科学省科学研究費補助金，基

盤研究（C），課題番号20592426，2010．

- 6) 山崎和久（研究分担者）：選択的スプライシングにおけるGU（T）-AGルールの例外—新たな骨形成不全症モデルマウスにおける病態発症機構の解明—．新潟大学プロジェクト推進経費（助成研究B），2010．
- 7) 魚島勝美，Stegaroiu Roxana，藤井規孝：咬合力による骨組織改造の高精度予測．日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究（B），20390487，2009．
- 8) 隅田好美：ALS患者の役割認識の変化—あきらめる役割、残る役割、新しい役割—，日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）22530599，2010
- 9) 八木 稔，佐久間汐子：地域う蝕トレンドモデルによるフッ化物応用の評価，日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究（C），21592643，2010
- 10) 八木 稔，石川裕子，佐藤 徹，大内章嗣，深井穂博：新しい「成人歯科健診・指導プログラム」による行動変容の評価．8020 推進財団公募研究，2010．

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Stegaroiu R: Biomechanics applied to implant prosthodontic research. Association of Basic Science Teachers in Dentistry (ABSTD) 5th European Meeting, Bucharest (Romania), 2010. 4. 16. In: Andreea Didilescu, Maria Greabu (eds), Abstract Book: ABSTD 5th European meeting, Bucuresti, Standardizarea, 2010: 37-38 (ISBN 978-606-8032-22-1).
- 2) Stegaroiu R, Ejiri S, Kurokawa K: Accurate Analysis of Bone Stress around Dental Implants by the 3D-Finite Element Method, CONGRESUL COMUN DE STOMATOLOGIE SRS - GAO, Italia; Bucharest (Romania), 2010. 5.14, Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol) LVI (1) :62-63, 2010.
- 3) 鈴木昭：「地域で支える高齢者の口腔機能」．第21回日本老年歯科医学会学術集会，新潟市，2010年6月25日．
- 4) 鈴木昭：「地域における子育て支援」．平成22年度県民福祉大会児童福祉分科会コーディネーター，新潟県社会福祉協議会，2010年10月19日．
- 5) 鈴木昭：平成22年度「社会福祉施設関係職員研究発表大会・助言講評」新潟県社会福祉協議会，新潟市，2011年2月24日．
- 6) 福島正義，武井典子：シンポジウム「高齢者の口腔機能向上サービスの推進を目指して」，日本老年歯科医学会第21回学術大会，新潟市，2010年6月26日

- 7) 福島正義：ワークショップ5 歯科衛生研究にチャレンジしよう！—身近なところからはじめる研究活動—／研究は身近な臨床的疑問から—研究のプロセス—，日本歯科衛生学会第5回学術大会，千葉市，2010年9月18日
- 8) 福島正義：シンポジウム2 成人期のう蝕の要因、予防、治療／根面う蝕に対するマネージメントの一提案，第59回日本口腔衛生学会・総会，新潟，2010年10月6日，口腔衛生会誌，60(4)301～302，2010.
- 9) 小野和宏：新潟大学歯学部歯学科の教育改革とその成果 - 21世紀を生き抜く歯科医師の育成を目指して - .平成22年度新潟大学歯学部同窓会総会・学術講演会，新潟，2010年4月24日.
- 10) 山崎和久：歯周疾患と心血管系疾患. 第9回補完医療を考える会，大阪市，2011.2.18.
- 11) Yamazaki K.: Periodontal disease and systemic health. Symposium on Oral Care and Oral Health. 58th Annual meeting of Japanese Association for Dental Research, Kitakyusyu, Japan, November 20, 2010.
- 12) 山崎和久：歯周疾患の動脈硬化症リスクに及ぼす影響. シンポジウム「新たな視点から口腔疾患を誘因とする難治性疾患を考える」第52回歯科基礎医学学会学術大会，東京都，2010.9.21.
- 13) 山崎和久：冠動脈疾患のリスク因子としての歯周疾患を考察する. シンポジウム「歯周医学最前線—これまでに何がわかったか—」第19回日本有病者歯科医療学会総会／学術大会，神戸市，2010.4.24.
- 14) 佐久間沙子：6歳未満児のフッ素洗口，第34回日本むし歯予防フッ素推進会議全国大会 in 札幌，北海道歯科医師会館（札幌市），2010年9月25日.
- simulation of trabecular structure around an implant improves the understanding of overload-related bone break-down. Association of Basic Science Teachers in Dentistry (ABSTD) 5th European Meeting, Bucharest, Romania, April 15-17, 2010. In: Andreea Didilescu, Maria Greabu (eds) , Abstract Book: ABSTD 5th European meeting: Bucharest, Romania: 15-17 April 2010. Bucuresti: Standardizarea, 2010 (ISBN 978-606-8032-22-1) , 96.
- 5) Nomura S, Tanaka M, Sakurai N, Sato N, Stegaroiu R, Kitamura E, and Nomura A: Educational support system in clinical training using the Ubiquitous computing. The 88th General Session of IADR, 2010.7. 17, Barcelona (Spain). J Dent Res 89 (SpecialIssueB) :4167,2010. (www.dentalresearch.org) .
- 6) Kaneko N, Umetsu H, Yoshihara A, Sakuma S, Hanada N, Miyazaki H: Glucan synthesis by Streptococcus *mutans* and caries incidence in schoolchildren. 88th General Session of the IADR, Barcelona (Spain), 7. 14-17, 2010.
- 7) Tabeta K, Tanabe N, Yonezawa D, Miyashita H, Maekawa T, Takahashi N, Okui T, Nakajima T, Yamazaki K: Elevated antibody titers to *Porphyromonas gingivalis* as a possible predictor of atherothrombotic vascular diseases: results from the Tokamachi-Nakasato cohort study in Japan. The Korean Academy of Periodontology, The 50th Anniversary and International Congress of Scientific Meeting, Seoul, Korea, November 27-28, 2010.
- 8) Maekawa T, Tabeta K, Kajita-Okui K, Nakajima T, Yamazaki K: Periodontal infection induces C-reactive protein production via IL-6/sIL-6R in human arterial endothelial cells. The Korean Academy of Periodontology, The 50th Anniversary and International Congress of Scientific Meeting, Seoul, Korea, November 27-28, 2010.
- 9) Nakajima T, Honda T, Okui T, Kajita K, Domon H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K: Periodontal treatment improves arterial stiffness. The 96th. Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology. Honolulu, Hawaii, November 1, 2010.
- 10) Aoki Y, Nakajima T, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K: The role of NKT cells in

【学会発表】

- 1) H. Ishizaki, L. Han, T. Okiji, M. Fukushima: Effect of drinks on flexural strength of flowable resins, 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, July 15th, 2010.
- 2) Saito I, Asahito T, Ono K, Susami T: The progress of inter-center collaborative studies in Japan. 7th Asian Pacific Cleft Lip and Palate Craniofacial Congress, Perth, March 13-16, 2011.
- 3) Uoshima K, Nagasawa M, Ono K, Maeda T: Development of novel and comprehensive pre-clinical practice course. IADR/AADR/CADR 89th General Session and Exhibition, San Diego, March 16-19, 2011.
- 4) Stegaroiu R, Ejiri S, Kurokawa K: Accurate

- oral infection mouse model with *Porphyromonas gingivalis*. 14th International Congress of Immunology, Kobe, Japan, August 23, 2010.
- 11) Tabeta K, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Nakajima T, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* alters the serum lipid profile in mice. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 17, 2010.
 - 12) Aoki Y, Tabeta K, Murakami Y, Yoshimura F, Yamazaki K: Analysis of TLR 2 -stimulating activity of *Porphyromonas gingivalis* FimA fimbriae. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 17, 2010.
 - 13) Nakajima T, Okui T, Kajita K, Yonezawa D, Miyashita H, Yamazaki K: Sitafloxacin is effective for reduction of pocket bacteria in SPT phase. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 15, 2010.
 - 14) Takahashi N, Okui T, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: Interleukin-17 stimulates interleukin-8 production in gingival epithelial cells. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 14, 2010.
 - 15) 石崎裕子, 福島正義: P82 生理的磨耗による切縁・咬合面の象牙質露出に関する予備的調査, 日本歯科保存学会 2010 年度春季学術大会 (第 132 回), 熊本市, 2010 年 6 月 5 日.
 - 16) 藤本篤士, 武井典子, 竹中彰治, 福島正義, 石川正夫, 石井孝典, 高田康二, 渡邊 勉, 岩久正明: P16 高齢者の口腔ケアに関する研究 第 6 報 総合的な口腔機能向上プログラムの試行と介護予防への実践. 日本老年歯科医学会第 21 回学術大会, 新潟市, 2010 年 6 月 25 日.
 - 17) 武井典子, 岩久正明, 藤本篤士, 石井孝典, 石川正夫, 福島正義, 竹中彰治, 渡邊 勉, 高田康二: P61 高齢者の口腔ケアに関する研究 第 5 報 総合的な口腔機能向上プログラムの 3 年間の試行評価. 日本老年歯科医学会第 21 回学術大会, 新潟市, 2010 年 6 月 25 日.
 - 18) 石川正夫, 武井典子, 藤本篤士, 竹中彰治, 福島正義, 渡邊 勉, 石井孝典, 高田康二, 岩久正明: P43 アンモニアを指標とした自立高齢者の口腔清潔度の評価法について. 日本老年歯科医学会第 21 回学術大会, 新潟市, 2010 年 6 月 25 日.
 - 19) 頭山高子, 隅田好美, 福島正義, 宮崎秀夫: 三年制歯科衛生士教育における臨床実習の実質化—歯科衛生士インストラクターによるマンツーマン指導の効果と基礎教育の改善効果—. 平成 22 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2010 年 7 月 10 日.
 - 20) 横塚あゆ子, 福島正義: 入院患者の口腔ケアに対する病棟看護師の意識調査, 日本歯科衛生学会第 5 回学術大会: 千葉, 2010 年 9 月 19 ~ 20 日, 日本歯科衛生士雑誌 5 (1), 164, 2010.
 - 21) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 筒井 陸, 福島正義, 末瀬一彦: 歯科衛生士教育における臨床実習の実質化への取り組み 第 3 報 歯科衛生士専任インストラクターによる臨床実習指導の効果. 日本歯科衛生学会第 5 回学術大会, 千葉, 2010 年 9 月 19 ~ 20 日, 日本歯科衛生士雑誌 5 (1), 221, 2010
 - 22) 青山祥子, 芳澤亨子, 菅井登志子, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史, 齊藤 力: 歯根完成歯移植の術後経過と予後因子に関する検討. 第 43 回新潟歯学会総会, 新潟, 2010 年 4 月 17 日.
 - 23) 小山貴寛, 星名秀行, 児玉泰光, 小野和宏, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 放射線誘発と考えられた下顎骨悪性線維性組織球腫の 1 例. 第 36 回 (社) 日本口腔外科学会北日本地方会, 仙台, 2010 年 5 月 21-22 日. 第 35 回日本口腔外科学会北日本地方会プログラム・抄録集, 51 頁, 2010.
 - 24) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 八巻正樹, 齋藤 功, 稲見佳大: 顎裂部の側切歯に対し骨移植術と同時に歯胚回転を行った唇顎口蓋裂の 1 例. 第 34 回日本口蓋裂学会・学術集会, 東京, 2010 年 5 月 27-28 日. 日口蓋誌, 34: 131 頁, 2010.
 - 25) 寺尾恵美子, 飯田明彦, 小野和宏, 五十嵐友樹, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法の硬口蓋閉鎖術前後における鼻咽腔閉鎖機能の検討 - 硬口蓋閉鎖床の有用性について-. 第 34 回日本口蓋裂学会・学術集会, 東京, 2010 年 5 月 27-28 日. 日口蓋誌, 34: 143 頁, 2010.
 - 26) 工藤和子, 寺尾恵美子, 朝日藤寿一, 児玉泰光, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男, 齋藤 功: 上顎前方移動術による口蓋裂術後鼻咽腔閉鎖機能への影響 (第 2 報) Nasometer と側面セファログラムでの検討. 第 34 回日本口蓋裂学会・学術集会, 東京, 2010 年 5 月 27-28 日. 日口蓋誌, 34: 143 頁, 2010.
 - 27) 竹山雅規, 渡邊直子, 朝日藤寿一, 森田修一, 毛利環, 小野和宏, 高木律男, 齊藤 力, 幸地省子, 須佐美隆史, 齋藤 功: 新潟大学における片側性唇顎口蓋裂患者の Goslon Yardstick を用いた咬合評価と矯正治療内容との関連性. 第 34 回日本口蓋裂学会・学術集会, 東京, 2010 年 5 月 27-28 日. 日口蓋誌, 34: 160 頁, 2010.
 - 28) 青山祥子, 芳澤亨子, 菅井登志子, 新美奏恵, 小林正治, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史, 齊藤 力: 歯

- 根完成歯移植の経過と予後因子に関する検討. 第64回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 札幌, 2010年6月24-25日. 第64回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集, 216頁, 2010.
- 29) 菅井登志子, 芳澤亨子, 小林正治, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史, 齋藤 力: 歯根完成智歯移植の予後因子に関する検討. 第64回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 札幌, 2010年6月24-25日. 第64回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集, 223頁, 2010.
- 30) 工藤和子, 寺尾恵美子, 朝日藤寿一, 児玉泰光, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男, 齋藤 功: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能の変化 -Nasometer および側面セファログラムによる検討-. 平成22年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2010年7月10日.
- 31) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 八巻正樹, 齋藤 功: 顎裂部腸骨移植術と同時に隣接する側切歯に対して歯胚回転を行った1例. 日本形成外科学会関東支部第84回新潟地方会, 新潟, 2010年11月12日.
- 32) 朝日藤寿一, 小野和宏, 森田修一, 高木律男, 齋藤 功: 長期管理を行った正中唇裂の1例. 日本形成外科学会関東支部第84回新潟地方会, 新潟, 2010年11月12日.
- 33) 石川裕子, 福島正義, 八木 稔, 柴田佐都子, 大内章嗣, 小野和宏, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子: 歯科衛生臨床実習の現状と実習ケースにおける項目の改定. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 盛岡, 2010年7月23-24日. プログラム・抄録集, 82頁, 2010.
- 34) 小野和宏, 八木 稔, ステガロク ロクサーナ, 大島勇人, 西山秀昌, 八巻正樹, 鈴木一郎, 朔 敬, 前田健康: 新潟大学歯学部における初年次教育の役割と課題. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 盛岡, 2010年7月23-24日. プログラム・抄録集, 97頁, 2010.
- 35) 塩生有希, 南 智香子, 君 雅水, 長澤麻沙子, 小野和宏, 魚島勝美, 前田健康: 新潟大学歯学部におけるPBL実施方法の評価 -学生立場から-. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 盛岡, 2010年7月23-24日. プログラム・抄録集, 102頁, 2010.
- 36) 青木由香莉, 中島貴子, 高橋直紀, 前川知樹, 宮下博考, 宮内小百合, 宮沢春菜, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染マウスモデルにおいてNKT細胞は歯槽骨吸収を促進する. 第3回口腔環境制御研究カテゴリー集会, 長崎市, 2011年2月4日.
- 37) 奥井桂子, 本田朋之, 奥井隆文, 高橋直紀, 土門久哲, 宮内小百合, 山崎和久: bFGFがヒト歯根膜細胞のmicroRNA発現に及ぼす影響. 第133回秋季日本歯科保存学会2010年度秋季学術大会, 岐阜市, 2010年10月29日, プログラムおよび講演抄録集: 179頁, 2010.
- 38) 高橋直紀, 奥井隆文, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生におけるinterleukin (IL) -17の関与 - IL-17受容体の発現とその機能解析 -. 第133回日本歯科保存学会2010年度秋季学術大会, 岐阜市, 2010年10月28日, プログラムおよび講演抄録集: 99頁, 2010.
- 39) 多部田康一, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博考, 宮内小百合, 奥井隆文, 中島貴子, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 長期感染マウスモデルにおける炎症, 脂質代謝関連遺伝子の発現変動. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会, 高松市, 2010年9月19日, 日本歯周病学会会誌 第52巻秋季特別号: 15頁, 2010.
- 40) 本田朋之, 高橋直樹, 奥井桂子, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* LPSがmicroRNA発現に及ぼす影響. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会, 高松市, 2010年9月19日, 日本歯周病学会会誌 第52巻秋季特別号: 18頁, 2010.
- 41) 多部田康一: Apolipoprotein E欠損マウスにおける*Porphyromonas gingivalis* 長期感染後の血清脂質プロファイルの変化. 第31回日本炎症・再生医学会, 東京都, 2010年8月5日.
- 42) 多部田康一, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博考, 宮内小百合, 奥井隆文, 中島貴子, 山崎和久: 動脈硬化自然発症モデルマウスにおける*Porphyromonas gingivalis* 長期感染後の血清脂質プロファイルの変化. 第132回日本歯科保存学会2010年度春季学術大会, 熊本市, 2010年6月4日, プログラムおよび講演抄録集: 44頁, 2010.
- 43) 前川知樹, 奥井桂子, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周病原細菌は血管内皮細胞においてIL-6/sIL-6Rを介し, CRP産生を誘導する. 第132回日本歯科保存学会2010年度春季学術大会, 熊本市, 2010年6月4日, プログラムおよび講演抄録集: 40頁, 2010.
- 44) 高橋直紀, 前川知樹, 奥井隆文, 本田朋之, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生におけるinterleukin (IL) -17の関与. - IL-17受容体の発現とその機能解析 -. 第53回春季日本歯周病学会学術大会, 盛岡市, 2010年5月15日, 日本歯周病学会会誌 第52巻春季特別号:

- 102 頁, 2010.
- 45) 奥井隆文, 米澤大輔, 奥井桂子, 宮内小百合, 青木由香莉, 宮下博考, 本田朋之, 伊藤晴江, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: SPT 期活動性歯周ポケットに対するシタフロキサシン経口投与有用性の検討. 第 53 回春季日本歯周病学会学術大会, 盛岡市, 2010 年 5 月 14 日, 日本歯周病学会会誌第 52 巻春季特別号: 124 頁, 2010.
- 46) 青木由香莉, 多部田康一, 村上幸孝, 吉村文信, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 由来 FimA 線毛のサイトカイン産生誘導能における Lipoprotein の関与. 第 53 回春季日本歯周病学会学術大会, 盛岡市, 2010 年 5 月 14 日, 日本歯周病学会会誌第 52 巻春季特別号: 21 頁, 2010.
- 47) 青木由香莉, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 由来 FimA 線毛のサイトカイン産生誘導能における Lipoprotein の関与. 平成 22 年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2010 年 4 月 17 日, プログラム抄録集: 98 頁, 2010.
- 48) 宮下博考, 米澤大輔, 本田朋之, 奥井隆文, 奥井桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. 平成 22 年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2010 年 4 月 17 日, プログラム抄録集: 98 頁, 2010.
- 49) 伊藤加代子, 船山さおり, 隅田好美, 井上誠: 口腔乾燥患者への診療時配慮事項に関する歯科衛生課程実習導入への試み, 一般社団法人日本老年歯科医学会第 21 回学術大会 (通算 25 回), 新潟市, 2010 年 6 月 25 日, 日本老年歯科学会抄録集, 142, 2010.
- 50) 高野 遼平, 長澤 麻紗子, Stegaroiu Roxana, 魚島勝美: 3次元有限要素法によるシミュレーションと実際の骨改造との相関性検証を目的としたモデル構築. 第 40 回日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2010 年 9 月 17 ~ 19 日. 第 40 回日本口腔インプラント学会学術大会プログラム・抄録集, 290 頁, 2010.
- 51) 隅田好美: 新潟県難病相談支援センターにおけるピアサポート研修の実践 - 患者会が抱える悩みの明確化 -, 日本社会福祉学会第 58 回大会, 名古屋, 2010 年 10 月 10 日, 日本社会福祉学会第 58 回全国大会報告要旨集, 584
- 52) 八木 稔, 佐久間汐子: 地域において就学前から開始されたフッ化物洗口プログラムのう蝕予防効果. 第 59 回日本口腔衛生学会総会, 新潟市, 2010 年 10 月 6 - 8 日, 口腔衛生会誌, 60 (4): 359, 2010.
- 53) 岩本彩, 八木稔, 石川裕子, 深井穂博, 大内章嗣, 安藤雄一, 佐藤徹, 池主憲夫: 「標準的な成人歯科健康プログラム・保健指導マニュアル」に基づくテスト事業の評価について, 第 59 回日本口腔衛生学会総会, 新潟, 2010.10.7, 口腔衛生学会雑誌 60 (4): 367 頁, 2010.
- 54) 山内邦生, 八木 稔, 花形哲夫, 一瀬 明, 山本武夫, 片岡照二郎, 清田義和, 本木一成, 山内皓央, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 甲信越北陸地方における集団応用フッ化物洗口の実態 - 2010 年速報値 -, 第 21 回甲信越北陸口腔保健研究会総会, 塩尻市, 2010 年 7 月 24 日, 口腔衛生会誌, 61 (1): 80, 2011.
- 55) 柴田佐都子, 石川裕子, 八木 稔, 福島正義, 大内章嗣, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子, 小野和宏: 医歯学総合病院における歯科衛生士学生教育のための臨床実習の状況について. 第 29 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 盛岡, 2010 年 7 月 23-24 日. プログラム・抄録集, 141 頁, 2010.
- 56) 中島俊一, 黒川孝一, 大内章嗣, 小野和宏, 八木 稔, ステガロク ロクサーナ, 鈴木 昭: 電子ノートシステム構築による PBL 学習支援について (第 2 報) - 電子筆記システムの改善について -. 第 29 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 盛岡, 2010 年 7 月 23-24 日. プログラム・抄録集, 119 頁, 2010.

【研究会発表】

- 1) 福島正義: MI を理念とした新しいう蝕治療ガイドライン, 平成 22 年度中毛学術講演会, 群馬県歯科医師会, クレインパーク山楽荘, 伊勢崎市, 2010 年 10 月 21 日
- 2) 八木稔, 石川裕子, 佐藤徹, 大内章嗣, 深井穂博, 池主憲夫: 新しい「成人歯科健診・指導プログラム」による行動変容の評価: 平成 22 年度 8020 研究事業, 2010.
- 3) 隅田好美, 西澤正豊, 野水伸子他 7 名: 新潟県難病相談支援センターにおけるピアサポート研修の実践 - 患者が抱える悩みの明確化 -, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の自立支援体制の確立に関する研究会議, 東京, 2010 年 1 月 11 日, 平成 21 年度班研究会議プログラム, 19, 2010
- 4) 隅田好美, 野水伸子, 大平勇二, 他 7 名: 新潟県難病相談支援センターにおけるピアサポート研修の実践 - 患者が抱える悩みの明確化 -, 全国難病センター研究会第 13 回研究大会, 新潟, 2010 年 3 月 13 日, 全国難病センター研究会第 13 回研究大会 (新潟) プログラム・抄録集, 39, 2010

【その他】

- 1) 鈴木昭：地域福祉課題の析出と解決の手法（児童虐待をなくす地域づくり）。福祉行政新任職員研修会、新潟県社会福祉協議会、2010年6月2日。
- 2) 鈴木昭：「子どもの理解と支援～子ども虐待のないまちづくりを目指して～」。子ども家庭支援者養成研修、新潟市社会福祉協議会、2010年6月15日。
- 3) 鈴木昭：WS「子ども虐待のないまちづくりをめざして」。新潟市江南区要保護児童対策地域協議会研修会、新潟市江南区役所、2010年8月26日。
- 4) 鈴木昭：新潟市西蒲区要保護児童対策地域協議会子ども虐待防止研修会講師、新潟市、2010年12月6日。
- 5) 鈴木昭：WS「子ども虐待検証事例からみた子ども虐待の生起メカニズム」。新潟市保健師研修会、新潟市子ども未来課、2011年1月27日。
- 6) 鈴木昭：佐渡市安全・安心地域推進プロジェクト・佐渡市地域安心ネットワーク検討委員、2010年度。
- 7) 鈴木昭：新潟市社会福祉法人の設立及び社会福祉施設整備等審査会委員、2010年度。
- 8) 鈴木昭：新潟市次世代育成支援対策行動計画推進協議会委員、2010年度。
- 9) 鈴木昭：長岡市要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー、2010年度。
- 10) 鈴木昭：新潟市社会福祉審議会委員、2010年度。
- 11) 鈴木昭：新潟市子ども虐待死亡事例検証報告書。新潟市、2011年3月31日。
- 12) 鈴木昭：児童虐待：核家族化で増加傾向 垣根超えた態勢づくりを。聞きたい言いたい2010年暮らしの回顧4、新潟日報、2010年12月27日。
- 13) 鈴木昭：新潟の福祉文化～ミニコロニーの思想～。戦略的大学連携支援事業共生型大学連携公開講座「文化・教養講座」、2010. 7. 3、長岡市
- 14) 福島正義：「平成21年度新潟大学歯学部同窓会・総会の報告」 P11「第56回全国歯科大学同窓会・校友会懇談会に出席して」 P29-30「新潟大学全学同窓会報告」 P46-47 新潟大学歯学部同窓会誌第30号、2010年3月
- 15) 福島 正義：国内渉外委員会、日本歯科審美学会 The News Letter 2010 Summer(7月)
- 16) 石崎裕子、福島正義：質問に答えて「切削介入はいつ?」。日歯理工誌、29(4)、322～323、2010年
- 17) 福島正義：委員会報告/国内渉外委員会、ニューズレター Vol22、日本歯科審美学会 2010 winter
- 18) 福島正義：編集後記、老年歯科医学、25巻3号、2010年12月
- 19) 小野和宏：PBL テュートリアル教育の実践 -新潟大学歯学部を取組-。平成22年度歯科衛生士専任教員講習会 IV、福岡、2010年10月2日。
- 20) 小野和宏：PBL テュートリアル教育の実践 -新潟大学歯学部を取組-。平成22年度歯科衛生士専任教員講習会 IV、京都、2010年12月11日。
- 21) 山崎和久：動脈硬化性疾患リスク因子としての歯周疾患を考察する。岡山大学大学院医歯薬学総合研究科大学院セミナー、岡山市、2010.6.23。
- 22) 狩野祥司：福祉行財政と福祉計画、新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業研修、新潟県社会福祉士会・新潟医療福祉大学・敬和学園大学、2010年11月7日
- 23) 狩野祥司：グループホーム・ケアホームのあり方、新潟県知的障害者グループホーム世話人研修、新潟県知的障害者福祉協会、平成22年11月15日
- 24) 大内章嗣、吉江弘正、野村修一、隅田好美、石川裕子、伊藤加代子：新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座、「口腔清掃介助の実際（実習）」、新潟、2010年7月6日
- 25) 隅田好美：ピアサポートー悩みをわかちあうために一、口友会新潟支部交流会、新潟、2010年11月21日
- 26) 隅田好美、山下萌絵、市川加奈、塚田しげみ：お口の中をいつもきれいに、新潟SCDマイマイ、新潟、2010年9月26日
- 27) 松永秀夫、隅田好美：ピアサポート研修ーステップアップコースー「気づきへのコーチング」、新潟県難病相談支援センター研修事業、新潟、2011年3月6日
- 28) 佐久間汐子：フッ素洗口の有効性と安全性、亀田小学校のフッ素洗口実施に向けた関係者会議、新潟市、2010年5月14日。
- 29) 佐久間汐子：歯・口腔の健康づくりにおけるフッ化物利用の位置づけ、フッ化物洗口実施基礎研修会、北海道中標津町、2010年9月30日。
- 30) 佐久間汐子：歯・口腔の健康づくりにおけるフッ化物利用の位置づけ、フッ化物洗口実施基礎研修会、札幌市、2010年10月21日。
- 31) 佐久間汐子：歯・口腔の健康づくりにおけるフッ化物利用の位置づけ、フッ化物洗口実施基礎研修会、札幌市、2010年10月22日。
- 32) 佐久間汐子：学校歯科健診における診断の再現性を高めるために、五泉市阿賀町歯科医師会地域保健研修会、五泉市、2011年2月26日。
- 33) 島田久幸：社会資源なき地域に未来はあるのか? (シンポジウム)。新潟県地域生活支援ネットワーク春季研修会、柏崎、2010年6月19日
- 34) 島田久幸：相談支援の基礎講義。平成22年度下越圏域ケアマネジメント基礎研修、胎内、2010年6月21日
- 35) 島田久幸：施設の民営化～新潟県の取組。平成22

- 年度中部十県一市児童自立支援施設長会議，新潟，2010年9月16日
- 36) 島田久幸：児童虐待の事例検討会．五泉市要保護児童対策地域協議会実務者研修会，五泉，2010年9月24日
- 37) 島田久幸：三障害のサービス一元化からみえてきたもの．平成22年度新潟県知的障害者福祉協会第7回居宅介護等分科会研修会，新潟，2010年10月22日
- 38) 島田久幸：障害者が地域で自立生活を送るために必要なこと（パネルディスカッション）．障がい者福祉フォーラム，新発田，2010年12月8日
- 39) 島田久幸：リフレーミングの手法を学ぶ．五泉市障害者自立支援協議会療育部会研修会，五泉，2011年2月10日
- 40) 島田久幸：自立支援協議会を地域の宝とするには～まず知ろう、そして活用しよう～．柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会全体報告会，柏崎，2011年3月4日

歯科総合診療部

【著書】

- 1) 石崎裕子，福島正義：Tooth Wear と天然歯の生理的摩耗量．医歯薬出版(株) 歯界展望 Vol. 115 No.6:1142-1143, 2010年6月
- 2) 石崎裕子，福島正義：質問に答えて「切削介入はいつ?」．日本歯科理工学会雑誌 29 (4) :322～323, 2010

【論文】

- 1) 安島久雄，魚島勝美，小野和宏，藤井規孝，井上誠，山村健介，斎藤功，興地隆史，高木律男，前田健康：新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性．日本歯科医学教育学会雑誌 26 (3) :349-353, 2010
- 2) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Yamamoto K, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H: Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults. J Periodontol 81 (5) :650-657, 2010.
- 3) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H: Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. Biometals, 23:419-424, 2010.
- 4) Yokoyama T, Kobayashi T, Yamamoto K, Yamagata A, Oofusa K, Yoshie H. Proteomic

- profiling of human neutrophils in relation to immunoglobulin G Fc receptor IIIb polymorphism. J Periodont Res 45 (6) :780-787, 2010.
- 5) Shimizu E, Kobayashi T, Wakabayashi H, Yamauchi K, Iwatsuki K, Yoshie H. Effects of orally administered lactoferrin and lactoperoxidase-containing tablets on clinical and bacteriological profiles in chronic periodontitis patients. Int J Dent 201: 405139. Epub 2011 Apr. 8.
- 6) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Komatsu Y, Abe A, Murasawa A, Yoshie H. Antibody responses to periodontopathic bacteria in relation to rheumatoid arthritis in Japanese adults. J. Periodontol 2011 in press.

【研究費獲得】

- 1) 小林哲夫，小松康高：ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明．日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (C) 22592309, 2010.
- 2) 吉江弘正，小林哲夫，久保田健彦，小松康高：歯周炎・リウマチにおける IL-6 エピジェネティクス病因論の確立．日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (B) 22390396, 2010.
- 3) 中島貴子，山崎和久，多田田康一，伊藤晴江：研究者名 (研究代表者を筆頭に記載：レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響－敵か味方か－)．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B)，21390555, 2010.
- 4) 中島貴子：CD 1 d 欠損マウスにおける歯周病原細菌感染が動脈硬化と脂質代謝に及ぼす影響．新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究，2010.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 小林哲夫，清水英寿，若林裕之，山内恒治，岩附慧二，吉江弘正：ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠薬摂取による歯周炎への影響．日本ラクトフェリン学会第4回学術集会，滋賀県長浜市，2010年11月13日．同学術集会プログラム：17頁，2010.
- 2) 中島貴子：歯周炎の発症・進展における T 細胞免疫の関わり．シンポジウム「歯周組織への感染とそれに対する免疫応答の特異性とは」．第53回春季日本歯周病学会学術大会、盛岡市、2010.5.14、日本歯周病学会会誌第52巻春季特別号 P64, 2010.